

製品名: リン酸化 ErbB2(Y1221 + Y1222) (11Z13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe05899

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	138kDa

抗原情報

遺伝子名	ERBB2 CD340; CerbB2; Erb b2 receptor tyrosine kinase 2; ERBB2; HER2; Herstatin; Human epidermal growth factor receptor 2; MLN19; NEU; NGL; Proto-oncogene Neu; Receptor tyrosine-
別名	protein kinase erbB-2; Tyrosine kinase type cell surface receptor HER2; V erb b2 avian erythroblastic leukemia viral oncogene homolog 2; V erb b2 avian erythroblastic leukemia viral oncoprotein 2;
遺伝子 ID	2064.0

SwissProt ID

P04626

免疫原

ヒト ErbB 2 の Tyr1221/Tyr1222 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

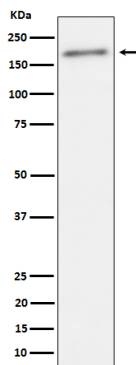
背景

いくつかの細胞表面受容体複合体の一部であるタンパク質チロシンキナーゼですが、リガンド結合には共受容体が必要であるようです。ニューレグリン受容体複合体の必須成分ですが、ニューレグリンは単独では相互作用しません。GP30はこの受容体の潜在的なリガンドです。いくつかの細胞表面受容体複合体の一部であるタンパク質チロシンキナーゼですが、リガンド結合には共受容体が必要であるようです。ニューレグリン受容体複合体の必須成分ですが、ニューレグリンは単独では相互作用しません。GP30はこの受容体の潜在的なリガンドです。末梢微小管 (MT) の伸長と安定化を制御します。ERBB2が活性化されると、MEMO1-RHOA-DIAPH1シグナル伝達経路が細胞膜でのGSK3Bのリン酸化を誘発し、それによって阻害を引き起こします。これによりAPCとCLASP2のリン酸化が防止され、細胞膜への結合が可能になります。次に、膜結合型APCは、微小管の捕捉と安定化に必要なMACF1の細胞膜への局在を可能にします。

研究分野

癌

画像データ



SKBR3 細胞溶解物中の Phospho-ErbB2 (Y1221 + Y1222) 発現のウエスタンブロット解析。